

目標の進捗状況報告書

(2013年度・大学)

担当部局は ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目・要素と担当部局

本シートでの自己点検・評価を行う部局と項目・要素は次のとおりである。

対象部局	統括部局：国際連携機構(国際教育・協力センター)	担当部局：国際連携機構(国際教育・協力センター)
大項目	7 国際交流 《全学的な視点》	
中項目		
小項目	7.0.1 国際交流（国内外における教育研究交流）についての方針を明示しているか。	
要素	(KG1) 国際化への対応と国際交流の推進に関する基本方針の適切性	
小項目	7.0.2 国際交流（国内外における教育研究交流）を適切に行っているか。	
要素	(KG1) 国際レベルでの教育研究交流を緊密化させるための措置の適切性 (KG2) 国内外の大学院間の組織的な教育研究交流の状況(院)	
小項目	7.0.3 国際教育・協力を適切に行っているか。	
要素	(KG1) 国際理解のための教育 (KG2) 国際協力の実践	

II. 目標の進捗状況評価と進捗状況報告(2013.4.30現在の進捗状況報告)

《進捗状況評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の自己評価を行っている。進捗状況評価はA、B、C、Dの4段階とし、2013年4月30日現在における目標の達成度評価(2013年度の達成に対してどこまで進んだかの評価)を行った。A、B、C、D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗状況評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 海外協定大学を2013年度末に150大学に拡大し、世界の多くの地域・国から交換留学生250人を受け入れ、国際性豊かなキャンパスを実現する。	→海外協定大学数および受入交換留学生。	C	B	B	B	/
2. 海外からの推薦入試など入試制度を改革し、学部、大学院において2013年度末に定員の3% (713人) の外国人留学生を受け入れ、国際性豊かなキャンパスを実現する。そのために、宿舎提供システム整備、ワンストップサービスの提供と奨学金制度を整備する。	→外国人留学生数、宿舎提供数、外国人留学生へのサービス部門の整備および奨学金制度改革の有無。	B	B	B	B	/
3. 英語による授業のみで卒業・修了できるコースを学部、大学院にそれぞれ1コース以上設置し、世界に開かれた大学を実現する。	→英語による授業のみで卒業・修了できるコースを提供する学部、大学院数。	C	B	A	A	/
4. ダブルディグリー制度を2013年度末までに3学部、5大学院に拡充し、世界の大学との教育・研究連携強化を実現する。	→ダブルディグリー制度を有する学部、大学院数。	C	C	B	B	/
5. 海外拠点を2013年度末までに3箇所以上設置し、海外との連携交流ネットワークを構築する。	→海外拠点数。	B	B	B	B	/
6. 国連学生ボランティア派遣日本コンソーシアムを2012年度末までに構築し、国連および国際機関等の法人との連携強化を実現する。	→国連学生ボランティア派遣日本コンソーシアムの構築の有無。	C	C	C	A	/
7. 海外への学生派遣プログラムを拡充し、2013年度末までに900人の学生を派遣する。	→海外への派遣学生数。	C	B	B	A	/
8. 海外客員教員制度を改革し、2012年度から新制度による外国人教員の受入を2009年度比50%増とし、教育のグローバル化と国際間での共同研究を推進する。	→客員教授制度を改革の有無と客員教授受入数。	D	C	B	B	/
9. 教員の国際化を推進し、2013年度には外国人教員比率を全体の12%以上とする。	→外国人教員比率	A	A	A	A	/

☆

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
	→	/	/	/	/	/
	→	/	/	/	/	/

《進捗状況》 ☆

目標の進捗状況について次のとおり簡単に説明する。

目標1	海外協定大学数は2013年4月末現在、148大学・組織となっており、5月中には達成する見込みである。しかし、交換留学生の受入れについては、2011年の134名(学部127名・大学院7名)より増加したものの、目標の250名にはまだ遠い数字である。(2012年度：144名(学部133名・大学院11名))。
目標2	外国人留学生は2013年4月末現在600人(学部・大学院)と昨年度より14人増加した。外国人留学生奨学金制度については、2011年度に改革し、入学前の採用が可能となった。宿舎は3寮で合計74室を確保し、受け入れの体制を徐々に整備しつつある。今後の留学生の増加に沿って更に増加させる必要がある。
目標3	学部は2011年度から国際学部が英語による受入れを実施しており、理工学研究科が2012年度秋学期から英語によるコースの受入れを開始した。英語による学位コースは目標通り設置できたが、コースへの学生の受入れは今後の課題である。
目標4	学部は社会学部と国際学部が制度を設置し、商学部が最終調整中である。大学院については、理工学研究科および言語コミュニケーション文化研究科が既に制度を導入している。今後大学院において制度の拡大を推進していく。
目標5	2009年度に吉林大学内とトロント大学内に設置し、2011年8月から2012年11月まで国際教育・協力センターの職員をトロントのオフィスに派遣した。(現在は派遣を中断。)他の拠点については、引き続き検討中である。
目標6	2013年3月に国連ボランティア計画(UNV)と基本合意書(LOI)を締結し、2013年4月1日から「国連ユースボランティア派遣」日本訓練センターを設置した。2013年6月にUNVと正式に協定(MOU)を締結し、国内の5大学と連携協定を結んだ。
目標7	2012年度は交換留学、中期留学、外国語研修、セミナー等で900名弱の学生を派遣し、ほぼ目標を達成した。2012年度に世界展開力強化事業に引き続きグローバル人材育成推進事業に採択され、更に今後その事業による派遣者も増加が期待できる。
目標8	海外客員教員制度については、2013年(1年遅れ)の改革となり、新たな制度では英語による全学科目での授業提供を目的とした協定校枠を設け、新たに教員を招聘した。しかしながら、海外客員教員受け入れ2009年度比50%は達成できていない。また、国際共同研究には発展していない。
目標9	外国人教員比率については、順調に上がってきており、2012年度は14.8%に達した。
備考	

《評価指標データ》

(特定項目データ)本項目は数量的なデータによる評価(現状分析)が可能のため、次のとおり指標を定め経年比較している。

【全学部】			単位	2008	2009	2010	2011	2012	2013	備考	
指標1	国際交流協定締結機関数		機関	71	77	97	118	128	143	・5/1現在 ・2009年度データに産業研究所1、言語教育研究センター3含む。	
指標2	国際交流協定締結国数		国	22	25	27	32	33	36	5/1現在	
指標3	海外からの受け入れ学生数	国数	国	16	17	25	29	26		累計数(学部+センター等)	
		外国人留学生	正規	人	329	338	377	413	457	479	・5/1現在(学校基本調査) ・正規とは学位取得目的
			交換	人	104	94	125	127	133		・累計数(学部+センター等) ・交換は正規以外とする。
		外国人留学生在籍学生比率	正規	%	1.7	1.7	1.8	1.9	2.0	2.1	外国人留学生÷在籍学生数
			交換	%	0.6	0.5	0.6	0.6	0.6		
その他(セミナー等による受け入れ)	人	27	8	18	12	112					
指標4	海外への派遣学生数	国数	国	11	12	11	18	20		累計数(学部+センター等)	
		人数	長期	人	148	142	164	376	412		・累計数(学部+センター等) ・1学期以上を「長期」
			短期	人	237	284	282	392	470		・累計数(学部+センター等) ・1学期未満を「短期」
		在籍学生比率	長期	%	0.8	0.7	0.8	1.8	1.8		海外へ派遣した学生数÷在籍学生数(23089名)
			短期	%	1.3	1.4	1.3	1.9	2.0		
指標5	海外からの受け入れ教員数		長期	人	1	5	6	1	1	・累計数(学部+センター等) ・1年間以上を「長期」	
指標6	海外への派遣教員数		短期	人	16	13	18	19	16	・累計数(学部+センター等) ・1年間未満を「短期」	
			長期	人	8	12	12	11		・累計数(学部+センター等) ・1年間以上を「長期」	
指標7	国連ボランティア(UNV)の参加者数		短期	人	468	434	673	635		・累計数(学部+センター等) ・1年間未満を「短期」	
			長期	人	6	4	6	6	6	・累計数(学部のみ) ・春・秋の合計	
指標8	外国人教員比率		%		10.2	12.5	13.7	13.9	14.8	・5/1現在	

※指標3「海外からの学生の受け入れ」の「外国人留学生」(正規)は2009年度までは1年間の累計数。2010年度以降は当該年度5月1日現在の数字。(学校基本調査に合わせた。)